

第1号議案 平成29度 事業計画

(平成29年4月1日より平成30年3月31日まで)

1. 郷土芸能に関する発表会の開催

(1) 全国地芝居サミット

平成30年度開催に向けて、保存団体、自治体等と調整を行う。

(2) 全国こども民俗芸能大会

大会再開のため準備委員会を設置し、具体的な検討を進めていく。

(3) 全国獅子舞フェスティバル

大会再開に向けて開催内容等の再検討を行う。

(4) かながわ伝統芸能祭 地芝居2018

神奈川県内の地芝居団体による公演と地芝居ワークショップを開催する。主催者である「かながわ伝統芸能祭実行委員会」よりの制作委託事業。出演団体等については、「かながわ伝統芸能祭実行委員会」において決定する。

開催期日(予定):平成30年3月4日(日)

会場:神奈川県立青少年センター大ホール

2. 指導者、保存団体の育成

(1) 伝統文化継承フォーラムの開催

地域の郷土芸能の指導者及び保存団体が次世代へ繋げていく方策を探るフォーラムを発表会開催との連携を取りながら進める。

(2) 郷土芸能振興支援プロジェクト

東日本大震災「郷土芸能復興支援プロジェクト」事業の当初の目的をさらに広げ、今後は「防災」ならびに継承が困難な団体への「振興支援」として幅広く支援を募っていく「郷土芸能振興支援プロジェクト」として実施する。また、郷土芸能の「防災」に関する情報発信・収集を継続して実施する。寄附金窓口も継続設置する。

3. 情報の収集及び提供

(1) 会報発行

会員及び関係機関等から全国各地の郷土芸能の情報を収集し、会報に掲載して広く一般に広報する。年4回の発行。発行部数1,000部。

(2) 情報の収集及び提供

会員、民俗芸能関係者及び関係団体等から全国各地の郷土芸能の情報を収集し、メールマガジン、SNS上等で掲載して広く一般に情報提供する。

(3) 映像の収集と活用

「郷土芸能ストリーム」

郷土芸能の上映会を通じて、日本全国の地域コミュニティと密接に結びついている様々な「郷土芸能」を分野を越えた幅広い層に発信し、郷土芸能に接する機会を広げることで、理解を深め、サポートする層の増進を図る。

開催期日：奇数月の第2水曜日（予定）

4. 国際交流事業

郷土芸能の国際交流の推進に資する事業等に対応していく。

5. 顕彰

全郷芸入会5年目と10年目の継続会員に対して感謝状を贈る。また、会員の中から長年に亘り郷土芸能の振興発展に寄与した個人の活動に対して功労賞を贈る。

6. 調査研究

「まつり研究会」の開催

まつり研究会を開催する。開催地域、対象「まつり」、開催日等については今後検討していく。参加募集は会報やインターネット等を活用して行う。

7. 郷土芸能の振興・発展

郷土芸能の振興、発展に寄与することを目的とする事業を行う。